



AsahiKASEI



株主通信

第131期上半期

2021.4.1-2021.9.30

証券コード 3407

旭化成株式会社

株主の皆さまへ



社会課題の解決に取り組み、

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大から1年半以上が経過しワクチンの接種が進んだことにより、世界経済は回復の兆しを見せているものの、気象災害の増加、地域ごとの景気格差、米中貿易摩擦などにより、主要国の市場環境は引き続き不透明な状況です。

このような状況において当社グループは、感染症の拡大リスクに留意しつつ、中期経営計画『Cs+ for Tomorrow 2021』^{シーズ・プラス・フォー・トゥモロー}の基本方針に則り、当社の強みである「多様性」と「変革力」を活かしてサステナブルな事業活動に取り組んできました。本年5月には脱炭素に向けて温室効果ガス排出削減を目指す「カーボンニュートラル」宣言を発表しました。今後は実現に向けたロードマップを策定し、目標達成に向けた取り組みを加速させていきます。

また、多くの皆さまにご心配、ご迷惑をおかけいたしました宮崎県延岡市の半導体製造工場が昨年10月に起きた火災事故について、本年9月に弊社の調査報告を公表させていただきました。今後はよりいっそう「安心・安全」を重視し、当社グループ全体で再発防止に全力で取り組んでまいります。

代表取締役社長

小堀 秀毅

サステナブルな社会の実現に貢献します

上半期の業績と通期の見通しについて

2021年度上半期の当社グループの連結業績は、「マテリアル」領域でセパレータ、電子材料系事業の拡大および自動車関連市場が回復したことにより販売数量が増加したことや、「住宅」領域における北米事業の好調な推移等により、売上高は11,810億円で前年同期比1,917億円(19.4%)の増収、営業利益は1,131億円で前年同期比364億円(47.4%)の増益となりました。売上高および営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてで、上半期として過去最高を更新しています。なお、当上半期の中間配当につきましては、1株当たり17円とさせていただきます。

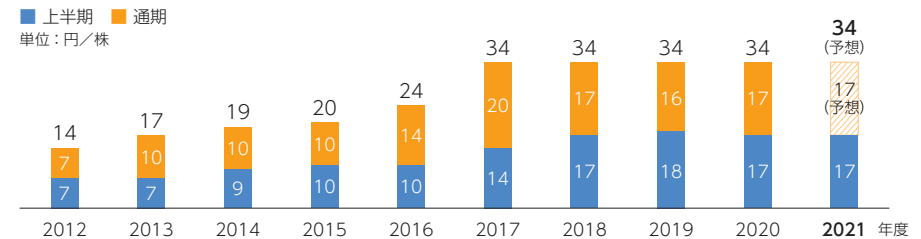
2021年度の通期業績予想は、上半期を中心に新型コロナウイルス感染症による影響を受けた前年度と比べ大幅に増収・増益となる見通しであり、売上高は2兆4,530億円、営業利益は2,131億円、経常利益は2,220億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,855億円といたしました。今後もさまざまな環境変化を注視し、随時的確な経営判断を行ってまいります。

株主還元について

当社は、持続的なキャッシュ・フロー創出により、事業拡大のための成長投資と健全な財務体質とのバランスを考慮しながら、中長期的視点で安定配当かつ継続的な増配を目指すことを基本方針としております。2021年度の配当につきましては、業績予想を踏まえ、1株当たり34円を予定しております。今後も配当性向30~40%を目安とし、DOE(株主資本配当率)の観点も取り

入れて、配当水準の維持・向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきたいと考えております。

配当の年度推移(1株当たり)



2022年、創業100周年に向けて

2022年度は、次期中期経営計画がスタートする年度であり、また当社グループの創業100周年という節目の年でもあります。創業者である野口遵の「吾々工業家は飽くまでも大衆文化の向上を念として、最善の生活資料を最低廉価に然も豊富に給することを以て究局の目的としなければならぬ」という想いを大切に守り、この100年間で培ってきた、人財・技術・事業の「多様性」と、従業員、組織、会社の創意工夫による「変革力」を通じて、「Care for People, Care for Earth」という、“人と地球の未来への想い”を次の100年へとつなぎ、新たな変革に挑戦していきます。引き続き株主の皆さまのご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2021年11月

特集 | 事業を通じたサステナビリティへの貢献

旭化成グループは、持続可能な社会の構築を目指し、事業を通じてさまざまな社会課題の解決に貢献しています。すべての事業で「Care for People, Care for Earth」を掲げ、さまざまな分野で持続可能な社会の構築につながる新しい価値を創出していきます。



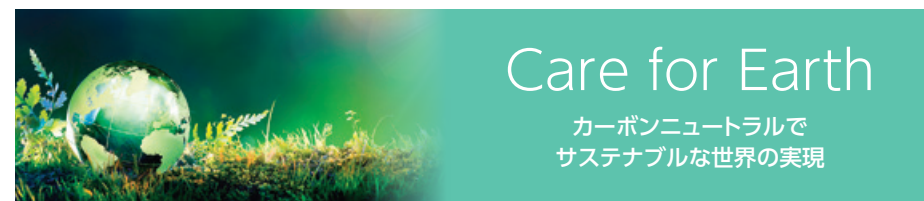
「健康・長寿」と「安心で快適な暮らし」が身近にある社会を目指し、技術や製品、ソリューションを通じて質の高い医療と豊かな暮らしを提供しています。

安心で快適な暮らしへの貢献

社会課題	事業を通じたソリューション
風水害・酷暑	レジリエントな街、住宅  ヘーベルハウス™
新たな暮らし方／働き方	新たなニーズに応える住宅／消費財／衣料
デジタル化	次世代通信関連製品(ガラスクロス等)


健康・長寿への貢献

社会課題	事業を通じたソリューション
COVID-19対応	人工呼吸器、血液浄化装置、ウイルス除去フィルター、表面殺菌ソリューション、3密見える化ソリューション、医療用ガウン、マスク素材
質の高い医療の提供	除細動器等、骨粗鬆症治療剤、関節リウマチ治療剤、免疫抑制剤、人工透析



脱炭素社会や循環型社会の実現をはじめとする、さまざまな環境課題の解決に向けてイノベーションを加速し、事業を通じたソリューションを提供していきます。

環境貢献事業の推進

社会課題	事業を通じたソリューション
サーキュラーエコノミー	マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル
カーボンリサイクル	CO ₂ 分離・回収システム、CO ₂ ケミストリー
次世代エネルギー	アルカリ水電解システム(グリーン水素)
電動車(xEV)	リチウムイオン電池用セパレーター、軽量化樹脂
その他環境貢献製品	イオン交換膜法食塩電解プロセス、プラスチック成形機用洗浄剤、改質アスファルト用エラストマー、CO ₂ センサー、低燃費タイヤ用合成ゴムS-SBR、ヘーベルハウス™、ヘーベルメゾン™、高性能断熱材、バイオマス原料製品、アクリロニトリル・シクロヘキサノールの製造プロセス、大量水ろ過用モジュール、Bio-PLA(ポリ乳酸)不織布、水殺菌用UVC-LED、印刷版用感光材樹脂  水殺菌用UVC-LED

水素社会の実現をリードする

大規模水素製造システムを活用した グリーンケミカルプラント実証プロジェクトを開始

当社と日揮ホールディングスは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が公募した「グリーンイノベーション基金事業／再エネ等由来の電力を活用した水電解による水素製造」において、「大規模アルカリ水電解水素製造システムの開発およびグリーンケミカルプラントの実証」プロジェクトを共同提案し、採択されました。当社はこれまで培ってきた知見を活かし、カーボンニュートラル社会を実現するための水素製造技術の事業化とグリーンケミカル製品の市場創出に取り組んでいきます。



アルカリ水電解システム

CO₂を資源として活用

CO₂を主原料とする高純度カーボネート類製造技術の 第1号のライセンス契約を締結

二酸化炭素 (CO₂) を原料としたポリカーボネート樹脂製造時の中間体である高純度エチレンカーボネートおよび高純度ジメチルカーボネートの製造技術のパッケージを完成させ、第1号のライセンス契約を締結しました。スマートフォンや電気自動車で使用されるリチウムイオン電池の電解液の主要原料としての利用が期待されています。今回のライセンスで年間約5万トンのCO₂を消費することができます。環境にやさしい電解液の供給を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

資源循環型社会の構築を目指す

プラスチック資源循環プロジェクト 「BLUE Plastics」を日本IBMと開始

資源循環型社会の実現に向けたデジタルプラットフォームの構築を目指し、日本IBMの技術支援を受けた「BLUE (Blockchain Loop to Unlock the value of the circular Economy) Plastics」プロジェクトを発足させ、2022年3月末までにプロトタイプを用いた実証実験を開始します。本プロジェクトを通じ、プラスチックのリサイクル率やリサイクルチェーンの可視化と消費行動の変容を促すデジタルプラットフォームを確立し、プラスチック資源循環を推進していきます。

トピックス

Topics 1 カーボンニュートラル社会の実現に向けた住宅事業の「RE100」目標達成を2025年に前倒しへ

旭化成ホームズは、2019年に参加した国際的なイニシアチブ「RE100」について、当初目標達成年度としていた2038年を大幅に短縮し、2025年までに達成する見込みとなることを本年8月に発表しました。同時に、低圧一括受電^{*1}方式を採用した独自のZEH-M^{*2}賃貸住宅「Ecoレジグリッド」を本格的に展開することで、レジリエンスの向上と再生可能エネルギーの地産地消を促進し、将来的な一般社会へのグリーンエネルギー供給を目指していきます。

※1：低圧一括受電：建物1棟分の低圧電力を、電力事業会社から事業者（本件では当社）が一括で受電し、賃貸住戸各戸に必要な電力を分配供給する仕組み

※2：ZEH-M（ゼッチ マンション）：戸建住宅におけるZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の集合住宅版



「Ecoレジグリッド」外観

Topics 2 イスラエル医療機器メーカー Itamar Medical Ltd.を買収

当社子会社であるZOLL Medicalは、心臓病患者への治療に睡眠時無呼吸症診断を組み込むことにフォーカスした医療機器およびデジタルヘルスを提供する

Itamar（イタマー）社と、同社のすべての発行済み普通株式を総額約538百万米ドル（約592億円）で取得する最終合意書を本年9月に締結しました。同年4月に買収した米国Respicardia（レスピカルディア）社の植え込み型神経刺激デバイスの取得に続き、睡眠時無呼吸症領域における在宅検査・診断ソリューションを獲得することで、心臓病患者へのサービスを強化していきます。



Itamar社の製品

Topics 3 ウイルス除去フィルター「プラノバ™ BioEX」の紡糸能力を倍増

旭化成メディカルは、新型コロナウイルス感染拡大下の製薬会社における抗コロナ製剤の開発および商業生産化ニーズの急速な高まりを受け、その製薬プロセスに使用されるウイルス除去フィルター「プラノバ™ BioEX」の供給体制を強化するため、同社プラノバ大分工場において同製品の中空糸生産能力を倍増することを本年7月に決定しました。2022年度第3四半期から商業生産の開始を予定しています。

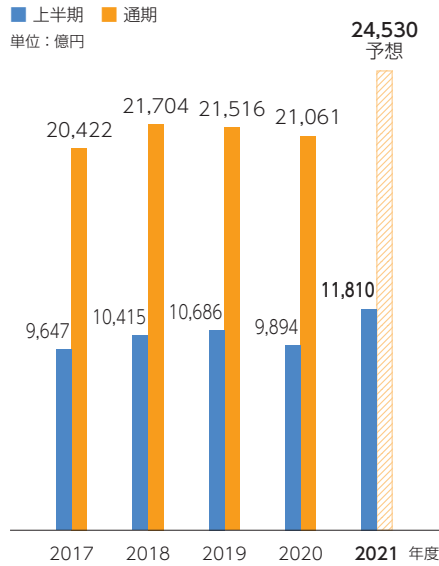


ウイルス除去フィルター「プラノバ™ BioEX」

連結業績ハイライト

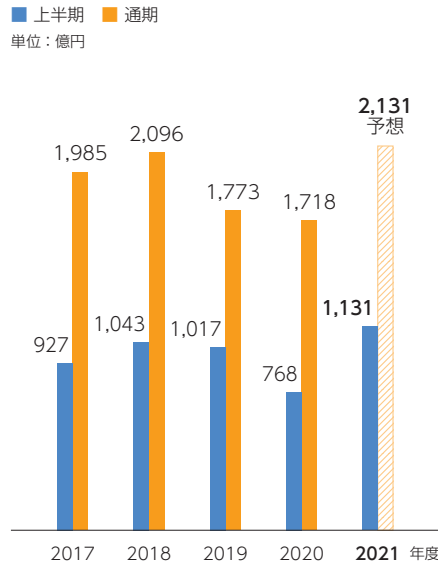
売上高

11,810 億円



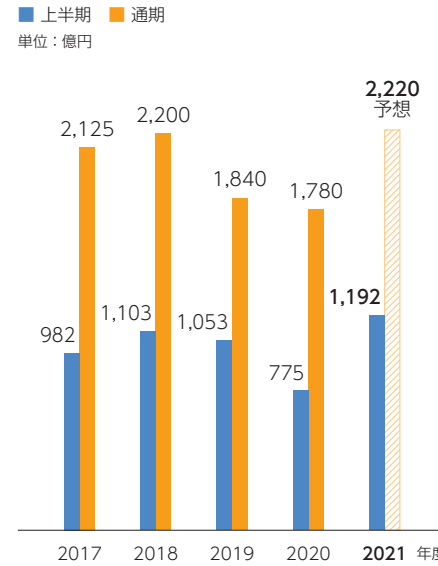
営業利益

1,131 億円



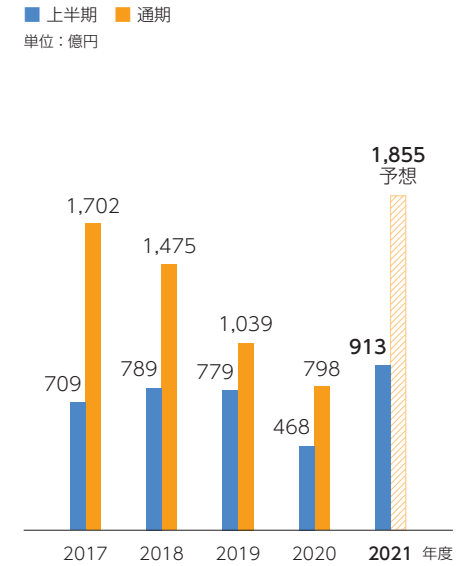
経常利益

1,192 億円



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

913 億円



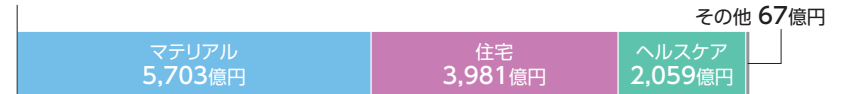
セグメント別業績

- マテリアル 48.3%
- 住宅 33.7%
- ヘルスケア 17.4%
- その他 0.6%

セグメント別 売上高 構成比

売上高

11,810 億円



営業利益

1,131 億円



■ 消去又は全社△165億円

会社情報 (2021年9月30日現在)

商号	旭化成株式会社 (Asahi Kasei Corporation)
創業年月日	1922年5月25日
設立年月日	1931年5月21日
資本金	103,388,521,767円
連結対象子会社	260社
持分法適用会社	45社
発行可能株式総数	4,000,000,000株
発行済株式の総数	1,393,932,032株
株主数	154,441名

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長 社長執行役員	小堀 秀毅	常勤監査役	中尾 正文
代表取締役 副社長執行役員	高山 茂樹	常勤監査役	柴田 豊
取締役 副社長執行役員	吉田 浩	社外監査役	真壁 昭夫
取締役 専務執行役員	坂本 修一	社外監査役	伊藤 鉄男
取締役 専務執行役員	川畑 文俊	社外監査役	望月 明美
取締役 常務執行役員	工藤 幸四郎		
社外取締役	立岡 恒良		
社外取締役	岡本 毅		
社外取締役	前田 裕子		

株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 https://www.asahi-kasei.com/jp/ir/stock_information/koukoku/
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 (連絡先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-782-031 (平日9時~17時)

配当金について

ゆうちょ銀行領収証方式の取扱期限

第131期中間配当金について、配当金領収証方式にて配当金をお受取りの株主さまは、2022年1月14日(金)までにゆうちょ銀行・郵便局にてお受取りください。

除斥期間

配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受取りください。

未受領の配当金

支払開始の日から満3年を経過していない未受領の配当金は、三井住友信託銀行よりお支払いいたしますので、三井住友信託銀行にお問合せください。

口座振込でのお受取り

配当金のお受取りにあたっては、安全・確実な口座振込のご利用をお奨めいたします。

旭化成株式会社

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
<https://www.asahi-kasei.com/jp/>

